EARTH BOY
軸掘り径3m、掘削深さ71m。大型のアースドリル専用機

ED6500
1 大型のアースドリル機

最大掘削孔径3mまでの施工ができます。深掘削とけん71mが可能となりました。孔壁保護、掘削精度の向上のため軽量、可変型のスタビライザの取付けもできます。

2 強力なパケット回転トルク

パケット回転トルクは低／高／超高トルクの3段階切替えを採用しました。従来型パケット掘削時はクリーバ先端にクリーバアダプタを取付け、60kN·m（61tf·m）の低トルクで使用でき、掘削径3mまでの大型パケット掘削時は、120kN·m（122tf·m）の高トルクで使用できます。更に4.1m拡径パケット使用時は131kN·m（134tf·m）の超高トルクで使用でき、小口径から大口径の拡径に適します。また、従来型パケットを高トルクで使用できるパケットアダプタもオプションで用意できます。

3 日車独自のフロントフレーム（特許番号1881772）

フロントフレームの吊りロープが不釣り合うシリンダ長さ構成とした。
フロントフレームはシリンダにより固定されており掘削穴の精度向上と掘削反力も充分に取れます。またシリンダを縮めるとクリーバ駆動装置が低くなりクリーバの挿入が容易となり、さらに拡径装置を取り付ける場合も低位置での取付作業となり、安全性も向上します。

4 パワフルなウィンチ

クリーバ巻上用ウィンチのラインプルは強力で、使用するクリーバロープもφ28mmです。
また、ブレーキはディスクブレーキ方式で、油圧アシスト式ブレーキを採用しておりますので、踏みも軽く操作が楽になりました。
5 スラスタストロークは1m

6 作業半径
作業半径が5425～7731mm（ブーム角度92.5°～76.8°）の間で任意に調整できます。また、ブーム角度（80°～76.8°）の間ではフランクフレームが上方位置から下方位置へと作業半径を下げる事ができ、下方位置に下げる量に満足なく掘削できます。特にフランクフレーム下方位置ではケーブルの張り出しが少ないと掘削精度の向上に問題があります。

7 消音ケーブルの採用（実用新案取得）
5段丸型ケーブルの推動面に特殊消音材を取り付け、施工時の衝撃音を低減します。
### 主要諸元

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>值</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>最大掘削径 (m)</td>
<td>酷爵 предусматривает максимальный размер 3.0</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>最大掘削線 (m)</td>
</tr>
<tr>
<td>削能</td>
<td>酷爵回転トルク (kN·m (ft·lbf))</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>低トルク</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>霧周トルク</td>
</tr>
<tr>
<td>削能</td>
<td>酷爵回転数 (min⁻¹ (r.p.m))</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>低トルク</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>霧周トルク</td>
</tr>
<tr>
<td>削能</td>
<td>ケリバ径 (mm)</td>
</tr>
<tr>
<td>削能</td>
<td>ケリバ長 (m)</td>
</tr>
<tr>
<td>削能</td>
<td>驱動方式</td>
</tr>
<tr>
<td>削能</td>
<td>パクトラベル速度 (m/min)</td>
</tr>
<tr>
<td>削能</td>
<td>床底 (2速/1速)</td>
</tr>
<tr>
<td>削能</td>
<td>フーザ回転数 (rev/min)</td>
</tr>
<tr>
<td>削能</td>
<td>走行速度</td>
</tr>
<tr>
<td>削能</td>
<td>速度 (km/h)</td>
</tr>
<tr>
<td>削能</td>
<td>速度 (km/h)</td>
</tr>
<tr>
<td>削能</td>
<td>フーザの長さ (m)</td>
</tr>
<tr>
<td>削能</td>
<td>旋回半径 (m)</td>
</tr>
<tr>
<td>削能</td>
<td>作業半径 (m)</td>
</tr>
<tr>
<td>削能</td>
<td>パクトラバウンド高さ (m)</td>
</tr>
<tr>
<td>削能</td>
<td>ケウンタウェイト (t)</td>
</tr>
<tr>
<td>削能</td>
<td>全装備重量 (ton)</td>
</tr>
<tr>
<td>削能</td>
<td>平均接地圧 (kPa/μm)</td>
</tr>
<tr>
<td>削能</td>
<td>燃料タンク容 (L)</td>
</tr>
<tr>
<td>削能</td>
<td>日替エンジンタイプ</td>
</tr>
<tr>
<td>削能</td>
<td>最大トルク Nm(kgf·m) / min⁻¹ (rpm)</td>
</tr>
<tr>
<td>削能</td>
<td>燃料消費率 (L/kWh) (R/oh-h)</td>
</tr>
</tbody>
</table>

注：(未定)は意味を含む可能性があります。前記の値を変更する場合があります。電気油圧式施行ロックの効果によりスイッチで施行ロックができます。

### 10 油圧着脱式フードビン

8mm~10mm用のフードビンはシリンダ操作で着脱できます。

### 11 ハイパワーエンジンを搭載

147kW (200ps) ハイパワーエンジンを搭載し、さらに特徴ポップとの組合せにより掘削作業の効率を向上させます。

### 12 簡単な保守点検

動動槽、動動槽、ガイドボーラはフローティングシールを採用、シール類は無限期ベアリングを採用しており、日常実施の除油処理をスムーズにしました。

### 13 拡張アースドリル工法への対応

<table>
<thead>
<tr>
<th>パケット形式</th>
<th>BK10</th>
<th>BK11</th>
<th>BK12</th>
<th>BK13</th>
<th>BK15</th>
<th>BK17</th>
<th>BK20</th>
<th>BK23</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>最小掘削径 (m)</td>
<td>1000</td>
<td>1100</td>
<td>1200</td>
<td>1300</td>
<td>1500</td>
<td>1700</td>
<td>2000</td>
<td>2300</td>
</tr>
<tr>
<td>最大掘削径 (m)</td>
<td>1700</td>
<td>1900</td>
<td>2100</td>
<td>2400</td>
<td>2700</td>
<td>3100</td>
<td>3600</td>
<td>4100</td>
</tr>
</tbody>
</table>

注：(超)は効率により変更があります。首都圏内機器はBK23パケット施行時のみ使用できます。構造使用しますと機器の寿命を短縮するので取り扱いに注意願います。

### 8 微速コントロールを標準装備

杭設置、インジケータ操作に有効な微速コントロール (作業速度100%～70%まで任意可変)を標準装備しています。

### 9 電気油圧式旋回ロック

電気油圧式旋回ロックの採用によりスイッチで旋回ロックができます。
ワイヤーロープ仕様

補助吊り作業定格総荷重
26mブーム補助吊り作業定格総荷重

<table>
<thead>
<tr>
<th>作業半径(m)</th>
<th>6.3</th>
<th>7.0</th>
<th>8.0</th>
<th>9.0</th>
<th>10.0</th>
<th>12.0</th>
<th>14.0</th>
<th>16.0</th>
<th>18.0</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>ブーム角度(°)</td>
<td>80.0</td>
<td>/80.0</td>
<td>/82.0</td>
<td>/83.0</td>
<td>/84.0</td>
<td>66.0</td>
<td>64.0</td>
<td>60.0</td>
<td>51.3</td>
</tr>
<tr>
<td>定格総荷重(t)</td>
<td>4.0</td>
<td>4.0</td>
<td>4.0</td>
<td>4.0</td>
<td>4.0</td>
<td>4.0</td>
<td>4.0</td>
<td>3.0</td>
<td>1.7</td>
</tr>
</tbody>
</table>

■補助吊り作業とはアースドリル施工時のスタンバイ、鉄筋、トレンバー等の吊り込み作業を言います。
■本定格総荷重はパケットを取り外し、ケーブル下端を駆動装置下端より約5m下げた状態の、水平堅土上における転換荷重の78%以内の値です。
■実際に吊り上げられる荷重は上表の定格総荷重からフック等の吊具、一切の質量を差し引いた値になります。

(注) スクリーンとして使用する場合は、塩基由来の移動式スクリーン使用を前提と通じます。